

アンドロイド演劇『さようなら』。アンドロイドと人間の関わりの中に、「人間にとって、ロボットにとって、生とは、そして死とは…」を鋭く問う、衝撃の短編作品。

出演

藝大オリジナルアンドロイド 永山由里恵 島田曜蔵
アンドロイドの動き・声：井上三奈子

ロボティシスト：力石武信（令和工藝）

舞台美術：杉山 至

照明：三嶋聖子

音響：泉田雄太

衣裳：正金 彩

舞台監督：中西隆雄

制作：太田久美子 土居麻衣

企画制作：青年団／(有)アゴラ企画・こまばアゴラ劇場

音響協力：富士通テン株式会社

協力：東京藝術大学 COI 拠点

会場案内図



長浜文化芸術会館には専用の駐車場がございません。豊公園駐車場をご利用ください。駐車券を会場にお持ちいただき、ホール受付で精算処理をしていただきますと駐車料無料になります。

平田オリザ 講演会 「22 世紀を見る君たちへ」

未来のことはわからない。

現在の日本人の平均寿命は 84 歳。

ということは今年（2020 年）生まれる子どもたちは、その天寿を全うすれば、みな 22 世紀を見ることになる。

彼ら / 彼女らは、まったく想像もできない未来を見る。まったく想像できない世界を生きる。

—平田オリザ著 「22 世紀を見る君たちへ」講談社現代新書 より抜粋—

この予測不可能な未来を生きる子どもたちには何が必要か、また私たちがしてあげられることは何か。

平田オリザとともに、未来を考える 60 分。



平田オリザ Profile

劇作家・演出家・青年団主宰。芸術文化観光専門職大学学長。江原河畔劇場・こまばアゴラ劇場 芸術総監督。1995 年『東京ノート』で第 39 回岸田國士戯曲賞、1998 年『月の岬』で第 5 回読売演劇大賞・優秀演出家賞、2003 年『その河をこえて、五月』で第 2 回朝日舞台芸術賞グランプリ、2019 年『日本文学盛衰史』で第 22 回鶴屋南北戯曲賞受賞。2011 年フランス文化通信省より芸術文化勲章シュヴァリエ受勲。豊岡市文化政策担当参与、宝塚市政策アドバイザー、枚方市文化芸術アドバイザー。

新型コロナウイルス感染防止対策について〈ご来場の皆様へのごお願い〉

- ・公演中も含め、館内ではマスクを着用いただきます。
- ・熱のある方（37.5℃以上）、体調のすぐれない方は来場をお控えください。入場時の検温にご協力いただき、体温の高い方は入場をお断りいたします。
- ・入場時の手指の消毒にご協力ください。
- ・入場時やお手洗いなど整列の際は、1m以上の間隔を空けてお並びください。
- ・お客様同士の近接した距離での会話、出演者への掛け声などはお控えください。
- ・来場時、「もしサポ滋賀」への登録にご協力をお願いします。
- ・お客様の氏名・連絡先等の情報について、保健所等関係機関からの要請があった場合は、開示することがあります。